

ともに輝け市沢っ子

副校長 森 飛鳥



新年度がスタートして3か月が過ぎました。子どもたちは、新しいクラスで新しい学年として、しっかり3か月間学習や生活を積み重ねてきています。1年生は、校歌だけでなく、横浜市歌も覚え、元気いっぱい歌っています。5年生は、初めての委員会活動にも慣れ、6年生に教わりながら張り切って活動しています。

さて、本校では、他学年との交流活動が日々行われています。昨年度までは、コロナ禍のため、積極的に交流活動を行うことができずにいましたが、現在子どもたちは積極的に他学年と関わっています。6年生は入学当初から、1年生の教室へ行き、給食の返却の手伝いも進んで行ってくれています。体カテストは高学年と低学年でペアになり、各種目を行いました。1年に1回の体カテストですから、高学年児童もやり方をしっかり覚えているわけではないのですが、低学年に頼られると、優しく声をかけながら説明をしていました。ペアの子が迷子になってしまった高学年児童は「穴があいたら入りたい」と反省していました。このように、学年を超えて交流をすると、低学年は、安心して行動でき、高学年児童は高学年としての意識が高まり、上級生としてすべき行動をとれるようになっていきます。個別支援級では、毎日異学年と一緒に過ごすことが、成長に繋がっています。



先日、1年生が近隣の幼稚園・保育園の年長さんを招待し、上級生デビューをしました。1年生の子どもたちはこの交流会に向けて話し合い、「1ねんせい・ねんちょうさん ハッピーなかよしかい」という会の名前も決めました。たくさん出た意見をみんなでまとめてできあがった会の名前です。相手意識や目的意識もしっかりもっています。準備万端。当日、年長さんがやってくると「こんにちは！」と笑顔で手を振り合う子どもたち。国語の学習を生かして作った動物クイズにはたくさん年長さんの手が挙がり、「正解です。」と嬉しそうに答えていました。「今度作って見たら。」と年長さんに話す児童もいました。司会も自分たちで行い、年長さんに1年生としての立派な姿を見てもらうことができました。この大きな経験が次の学習に活かされていきます。

今月、4年生は初めての宿泊体験学習、6年生は日光修学旅行を経験します。同学年の友達と助け合い、一緒に課題を解決し、大きく成長して帰ってくると思います。今月も「市沢に生き、ともに輝く子」を目指し、教職員一同努めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。